



うんなん
ビジョン
2025-2034

第3次雲南市総合計画

うんなん
ビジョン
2025-2034
第3次雲南市総合計画



わたしは、コウノトリ。

いろんな国を旅して、

家族でしあわせに暮らせるまちを探してきた。

わたしたちは、ずっと昔から人間の近くに暮らしてきたんだ。

人間の近くは、

安心して暮らせるし、

なんといっても田んぼがあって、

そこには生き物がたくさんいるからご飯にも困らない。

最近はそんな“ちょうどいい”ところが

なかなか見つけれなかった。

そんなとき、このまちを見つけたんだ。

わたしがこのまちで 暮らすことにした理由

多様な生き物がいっぱい

わたしたちは、たくさんの種類の生き物を食べて生きている。このまちは人の近くでもいろんな生き物が暮らしていたんだ。その証拠に、ここにはたくさんのホタルが飛んでるでしょ。ホタルに聞けば、わたしたちの大好きな生き物たちがどこにいるか教えてくれるんだ。



古くから続く営み

昔、このまちは“たたら”と呼ばれる鉄づくりで、とって発展していたらしい。砂鉄を取るために崩した山は、田んぼとして使ったり、燃料として使う木も切り尽くしてしまわないようにルールをつくっていたんだ。昔から自然と一緒に発展することを考えていたんだね。

チャレンジを支える人たち

わたしが「このまちで家族と暮らす」というチャレンジを始めたら、このまちの人たちは、大人も子どももわたしたちが暮らしやすいように、草を刈ってくれ、冬の田んぼに水を残してわたしたちが食べ物に困らないようにしてくれた。今もそれは続いている。

人にとっても“住みたい田舎”

わたしたちは人もいて自然もしっかりある場所に暮らしてきた。このまちは、豊かな自然に囲まれながら都市部までのアクセスも良くて、移住先としても注目されているらしい。これからのことを考えると、そんなまちがいいな、ってわたしは思ったの。

見えないものを大切にする

日本で一番古い歴史の本によると、この地域にはむかし怖いオロチがいて、それを神さまが倒してくれたんだって。今でもいろんな場所にその言い伝えが残ってるんだ。しあわせや優しさ、平和や多様性とか、本当に大切なものって目に見えないものが多いよね。

10年後、わたしたちは どんな空を飛んでいるんだろう

わたしがここで暮らし始めて7年がたった2023年、
10年に一度更新されるまちの大きな計画がつくられているって聞いた。
10年後って、どんな感じなんだろう。
このまちの計画は、わたしたちコウノトリにとってもすごく重要なこと。
昔、わたしたちが日本の空を飛べなくなったときのようなことも起きるから。



うなん ビジョン 2025-2034

基本構想

将来像

10年後の雲南市のめざす姿、
つくりたいまちの姿

19頁

施策

将来像の実現に向けた3つの柱と12の施策

27頁

基本理念

将来像の実現に向けた基本的な考え方、心構え

●第3次雲南市総合計画

17頁

●第2次雲南市総合計画

14頁

●第1次雲南市総合計画

13頁

●はるか昔から続く営み

11頁

ステージ3

ステージ2

ステージ1

ステージ0



START

ステージ0

はるか昔から続く人と自然のつながり

全国最多の銅鐸39個が1カ所から出土した加茂岩倉遺跡は、古代日本の歴史研究に衝撃を与えました。さらに、邪馬台国の卑弥呼が魏からもらったとされる100枚の銅鏡のうちの1枚が神原神社古墳で発見されています。

日本最古の歴史書「古事記」や「日本書紀」に記されたヤマタノオロチ伝説をはじめとした神話や、地誌「出雲国風土記」に記された地名や神社が私たちのまちには今もなお連綿と受け継がれています。



銅剣・銅鐸(約2,000年前)



景初三年銘三角縁神獸鏡(239年)



古事記(712年)



出雲国風土記(733年)

自然との共生による 生業づくり

古くから斐伊川の支流周辺の低地では農耕が営まれ、山間地ではたたら製鉄や炭焼きがさかんに行われてきました。



持続可能な開発をした先人

江戸時代から近世にかけては、たたら製鉄がまちの一大産業となり繁栄しました。伝統的な製鉄と農業とを結びつけ、製鉄の原料となる砂鉄を採取した鉾山跡地を計画的に耕地に造成してきました。その中心地である吉田町では、往時の面影を残す貴重な建造物や街並みが残っています。



神話

伝承

地名

産品

古事記や出雲国風土記に記された神話や伝承、地名、産品は、今も数多くこのまちに残っています。

ステージ1

2004年-2014年
第1次雲南市総合計画

地域自主組織を基盤とする協働の仕組み

雲南市は、大東町・加茂町・木次町・三刀屋町・吉田村・掛合町の6町村が合併して平成16年11月1日に誕生しました。

新市の誕生と同時に策定した「第1次雲南市総合計画」では、「生命(いのち)と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」をまちづくりの理念に掲げ、ふるさとが継承してきた恵みを更に磨き高め、交流を盛んにしていこうとまちづくりに踏み出しました。

平成20年に「雲南市まちづくり基本条例」を定め、市民・議会・行政の3者が力をあわせてまちづくりをすすめていくための基本的なルールを決めました。地域自主組織を単位として、自らの地域は自らの手でよくしていこうとする「協働」のまちづくりの仕組みが進展しました。

ステージ2

2015年-2024年
第2次雲南市総合計画

チャレンジの風土・文化づくり

平成27年には、令和6年度までの10年間のまちづくりの目標と方向性を示す「第2次雲南市総合計画」を策定しました。基本理念の実現に向け、「課題先進地から課題解決先進地」になることをめざし、「人口の社会増」への挑戦をスタートしました。

平成31年に「雲南市チャレンジ推進条例」を定め、子どもから大人まで、様々な主体によるチャレンジがつながり、互いに影響し合いながら拡大する、「チャレンジの連鎖」が生まれるまちの実現をめざしてきました。



価値観や幸せのあり方が多様化する中、
来るべき時代を乗り越える知恵は、
雲南らしさの中にこそあるのではないか ——

若い人から高齢の人、職業もいろいろな人たちが
何度も集まって、このまちの未来の姿について
話し合いを重ねました。

《話し合いの中で出てきたこと》

- 多様性の尊重……………一人ひとりが違う前提のもとで、
一人ひとりの幸せを大切にしたい
- 生物多様性の保全……………人間も自然界の一員であることを忘れずに
- 協働のまちづくりの深化 ……雲南にご縁のある人・ものの力も
いかしたまちづくりへ



変わらず、変える

変わらず、大切にすること そのために勇気をもって変えること

人と人がつながるあたたかなコミュニティ。
人と自然が調和した里山の暮らし。
神話が息づく豊かな歴史と文化。

これは、市民が共通して感じている雲南市の魅力です。
わたしたちがあたりまえに感じているこれらの魅力をよく見ると
目には見えない3つの関係性が調和することによって
育まれていることに気づきます。

それは「人と人」「人と自然」「人と歴史・文化」のつながりです。

孤立化や分断が進む現代にあって、
これらのつながりを次世代につなぐことは、わたしたちの責務です。
そのためには、前例にとらわれない新しい発想で、
変えるべきものを変えていくことが求められます。

変わらず、変える。

これを今後のまちづくりにおける
基本となる考え方、大切にする姿勢に定めます。



えすこな 雲南市

Well-being for all UNNAN

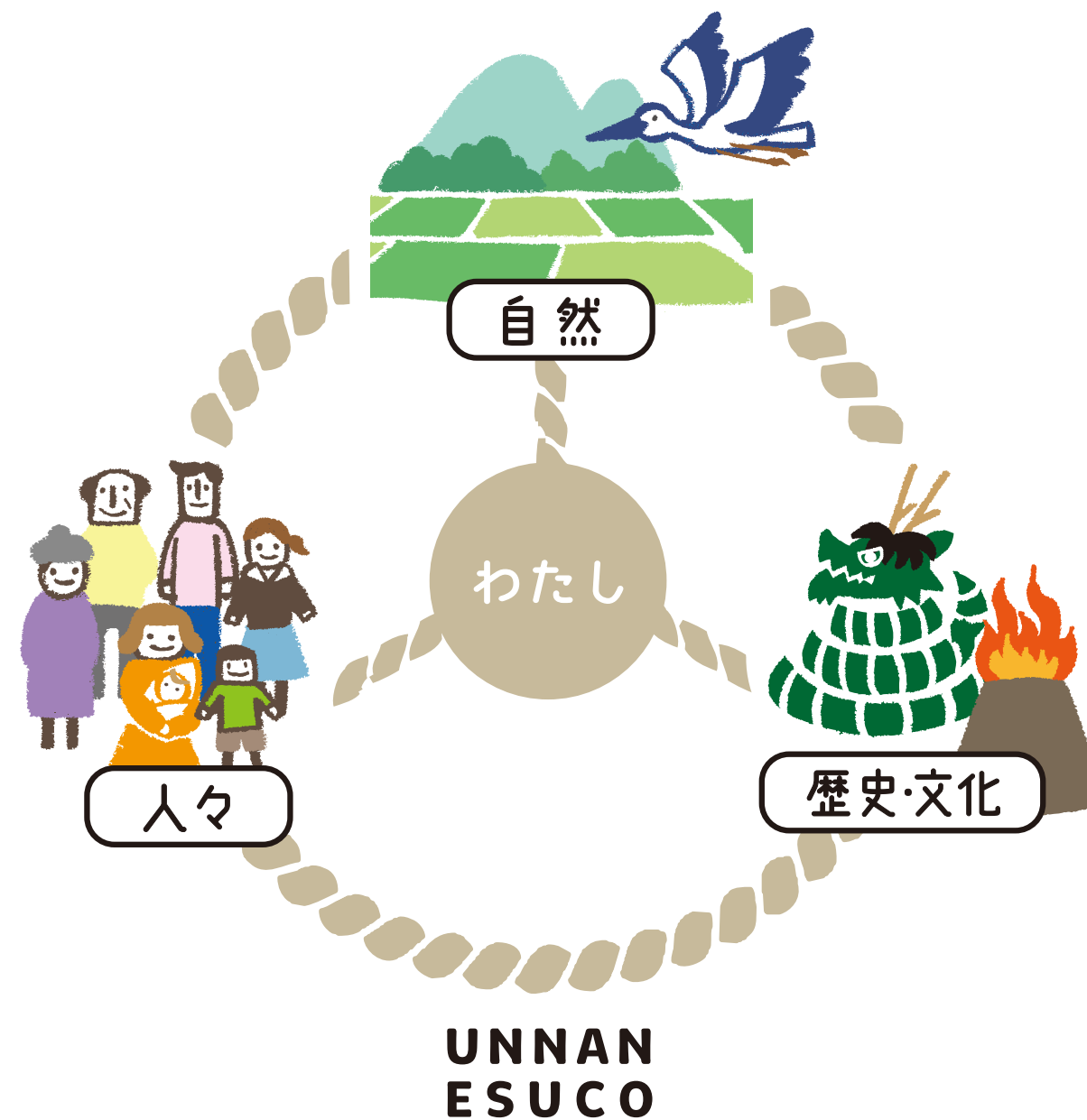
みんなが幸せに暮らせるまち

「えすこ」とは、この地域の方言で
「ちょうどよい状態」、「いい具合」を意味する言葉です。

これから私たちが歩む未来は、さらに激しい変化と、
不確実で複雑なものになると言われています。
だからこそ、私たちはその時々「えすこな雲南市とは？」
という問いに向かい続ける必要があります。

えすことは、「雲南らしさ」です。
えすことは、「調和」です。

今だけ、自分だけではなく、
「人與人」「人と自然」「人と歴史・文化」のつながりの中で、
みんなが幸せに暮らせる持続可能なまちの実現をめざし
「えすこな雲南市」を将来像に掲げます。



実現したいシーン

市民の皆さんからの意見をまとめていくと、
えすこに「暮らす」、えすこに「育む」、
えすこに「創る」の3つの言葉になりました。
3つの言葉を分かりやすく伝えるために絵にしました。



近所の
あたたかな
縁側



自然の中で快適に過ごせる



えすこに
おせっかい

えすこに



出会えるまち



雲南市から
日本全国、
世界の仕事ができる

暮らす



一人暮らしでも
安心して暮らせる



安心な
暮らしが続く



みんなが笑顔

子どもが川遊びや
芋掘りをしている



世界中から
学びに来る！



田舎の中で
体験留学

おじいちゃん、おばあちゃんも
父さん、母さん、孫も
いこいの場で一緒に



えすこに

育む

イキイキと自分らしく
生きている大人



キラキラ
輝いている

お年寄りも学ぶ



選手、スタッフ、応援者の
みんなが楽しんでいる



文化の継承が
できる



エネルギー、水、
自然が巡っている

おじいちゃん、おばあちゃんと
高校生、大学生と一緒に起業



近くの農園で
野菜づくり



自然の恵みをいかす
チャレンジャーが活躍！

えすこに

創る



ロボットや
ドローンで
農作業・害獣対策

世界中から観光客が
訪れるまち



好きなことや
社会貢献が
お金になる

世界に挑戦した
雲南出身者が
地元貢献している



人とロボットが
共同作業



「えすこな雲南市」の実現に向けた 3つの柱と12の施策

「えすこな雲南市」をよいかたちでこれからにつないでいくため、
“えすこに暮らす(暮らし)”“えすこに育む(人づくり)”
“えすこに創る(価値創造)”の3つの柱(観点)を共通軸に据え、
分野横断で基本構想の実現を図ります。

みんなが主役の自治のまち

協働／自治／コミュニティ

どこでも安心して暮らせるまち

交通／インフラ／土地利用／防災

みんながずっと元気なまち

保健／医療／福祉

みんなで 子どもを育てるまち

結婚／出産／子育て

えすこに

創る

価値創造

えすこな 雲南市

えすこに

育む

人づくり

自然の恵みがめぐるまち

自然環境／エネルギー／循環型農業

みんなのたからを誇るまち

観光／ブランディング

挑戦し活力を産みだすまち

農林業・商工業／経済

みんながみんなを大切にするまち

平和と人権／多様性の尊重／多文化共生

チャレンジが生まれるまち

人材の育成・確保

ふるさとを学び育つまち

教育

心の豊かさを実感できるまち

スポーツ／文化

人の輪が広がるまち

移住定住／人材還流／関係人口

えすこなまちの姿〈土地利用ビジョン〉

地域の特性をいかした均衡ある発展に配慮しながら、市街地整備をすすめる都市機能地域、農地として生産振興を図りつつ交流活動やＵＩターンを促進する地域、山林など環境保全をすすめる地域、宅地開発などをすすめる住環境開発地域を設定し、計画的な土地利用を図ります。市全体の視点にたった機能分担や連携を図り、それぞれの地域にあった「暮らしやすさ」が感じられるまちをめざします。



あなたの“えすこ”からはじめよう！

雲南のえすこな状態は、あなたにとってのえすこな状態からはじまります。そして、あなたが“自分自身のえすこ”を考えると、「人々」「自然」「歴史・文化」とのつながりを少しでも意識してみてください。

私たちが大切にしようとするつながりは、まずは、あなたが意識することからはじまります。一度、途切れたように見えるつながりも意識することで、再び取り戻すことができることを、コウノトリは教えてくれました。きっと、ほかのつながりも同じです。

行動するとき、決めるとき、ぜひ“雲南のえすこ”を思い出してください。

わたし …………… ☐ わたしにとっていいことか

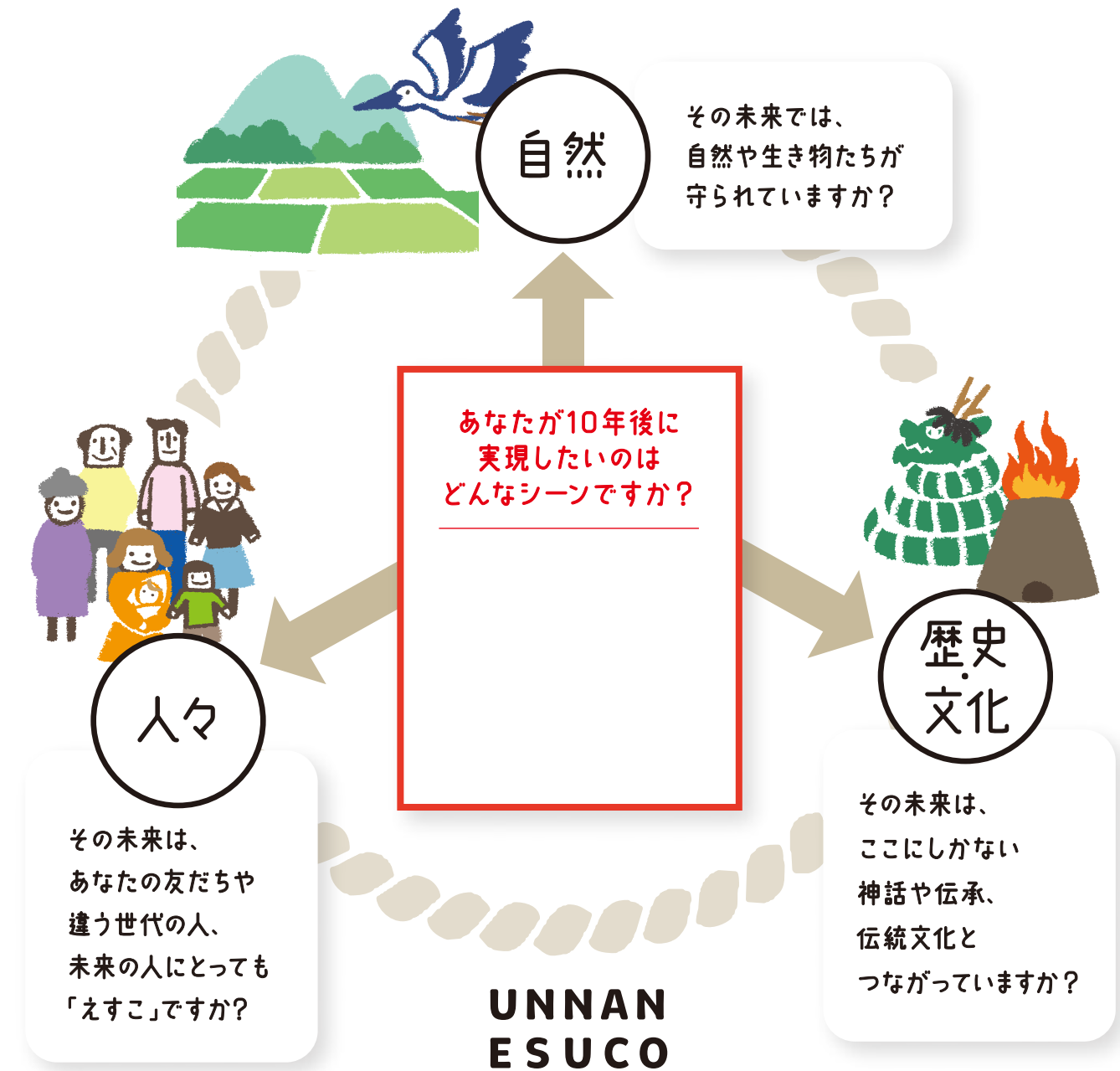
人々 …………… ☐ 周りの人にとってもいいことか

☐ 自分とは違う世代にとってもいいことか

☐ 次の世代にとってもいい状態が保たれるか

自 然 …………… ☐ 生物の多様性は守られるか

歴史・文化 …… ☐ 先人が大切にしてきたモノ、コトのつながりが
よい状態で保たれているか



うんなん ビジョン 2025-2034

基本計画



これは市民のみなさんからいただいた「実現したいシーン」をイラストであらわしたものです。

基本計画の全体像



重点事業のうち、施策横断で成果を高める取り組みをシンボルプロジェクトとして展開します。「えすこな雲南市」を実現するための象徴的な取り組みとして、3つの柱と12の施策の推進力とします。

シンボルプロジェクト

雲南の暮らしの再構築

- 自治・共助の進化
保健医療福祉の連携強化
- 交通網の確保
- エネルギー
(再エネ・省エネ・ごみゼロ)
- 資産再生・資源活用
(空き家活用・まち中再生・農地山林の集約化)

雲南を学ぶ・いかす

- 雲南らしさをいかした子育て
- 多様な教育活動(キャリア教育2.0)
- 人材還流・関係人口
- 雲南らしさをベースにした新しい学びの場
(ESUCOユニバーシティ)

雲南ならではの価値創出

- 農畜産業(耕畜連携等)
- 経済・資源の循環
- 生物多様性・ネイチャーポジティブ
- 観光まちづくり

えすこな雲南市

シンボルプロジェクト のイメージ

これまで大切にしてきた「協働」「チャレンジ」をさらに発展させ、「総働」のまちづくりを推進していきます。

人材、資金を効果的に取り込みながら、「雲南の暮らしの再構築」「雲南を学ぶ・いかす」「雲南ならではの価値創出」を一体的に取り組みます。

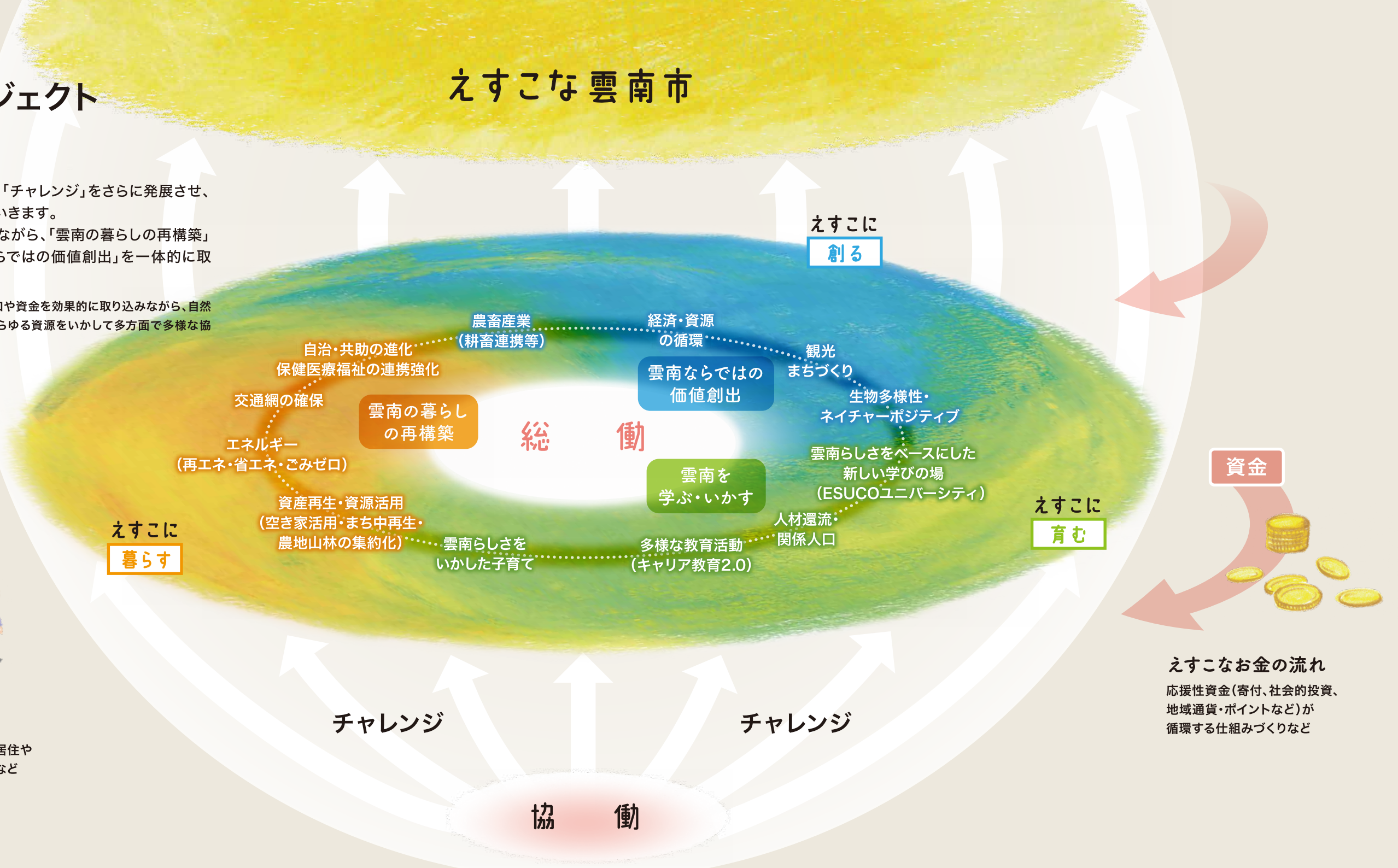
総働とは…世代や立場を超え、関係人口や資金を効果的に取り込みながら、自然環境や歴史文化、先人の知恵などのあらゆる資源をいかして多方面で多様な協働を行うことです。



人材

えすこな人の流れ

人材環流や関係人口の拡大、二地域居住や副業(兼業)を応援する仕組みづくりなど



資金



えすこなお金の流れ

応援性資金(寄付、社会的投資、地域通貨・ポイントなど)が循環する仕組みづくりなど

めざす

10年後の姿

地域の特性や人のつながりをいかし、
みんなでまちづくりが行われている。

時代によって変化する
つながり方や
つながる仕組みが
考えられている。

誰一人取り残さない。
そんなつながりの
ある地域。

個々の意見が大切に
され、地域運営に
反映されている。



雲南の歴史や
地域の特性が
受け継がれている。



変えないこと

- ☐ 市民が主役の“協働のまちづくり”
- ☐ 地域自主組織による住民主体の地域づくり
- ☐ 住民同士の温かなつながり



変えること

- ☐ 若者や女性の参画機会
- ☐ 時代に合わせた地域活動への対応
- ☐ 地域の担い手不足

ここで成果を確認しよう！

地域活動や市民活動に参加していますか？（市民アンケート）

現状値
2024(R6)年度

61.1%



中間目標値
2029(R11)年度

70%



最終目標値
2034(R16)年度

70%

基本方針

- 1 地域自主組織を中心に多様な主体や人材が重層的に関わる共助のインフラ（基盤）づくりに取り組みます。
- 2 地域の担い手確保や関係人口の拡大を支援する新たな仕組みづくりに取り組みます。
- 3 地域の寛容性の向上や活動の効率化をすすめ、若者や女性など誰でも参画しやすい環境づくりに取り組みます。

重点テーマ

- (1) 住民同士による「共助」の再構築
- (2) 地域の魅力をいかした関係人口づくり
- (3) 若者や女性が活躍しやすい環境づくり
(地域の人権対策、地域活動のデジタル化、地域組織の見直し等)

02 どこでも安心して暮らせるまち

《交通／インフラ／土地利用／防災》

めざす

10年後の姿

そこに暮らす人が、
住みよさ、暮らしやすさを実感している。

JRや市民バス、タクシーなどで、
行きたいところに行くことができる。



何が起きても大丈夫。
防災力が高く安心して暮らせる地域。



空き家、未利用の農地・山林が
地域資源として見直され、活用されている。



変えないこと

- ☐ 暮らしを支える公共サービスやインフラ
- ☐ それぞれの地域に合った『暮らしやすさ』を感じられるまちづくり
- ☐ 地域力をいかした防災体制



変えること

- ☐ 公共交通のあり方
- ☐ 災害リスクへの備え
- ☐ 空き家や耕作放棄地の活用

ここで成果を確認しよう！

お住まいの地域は安心して住みよいと感じますか？（市民アンケート）

現状値
2024(R6)年度

57%

中間目標値
2029(R11)年度

60%

最終目標値
2034(R16)年度

60%

基本方針

- 1 どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワークの維持・充実に取り組みます。
- 2 防災・減災対策をハード・ソフト両面ですすめ、市民の安全安心な暮らしを支えます。
- 3 空き家や遊休農地など未利用の地域資源の活用を促進し、地域の活力維持に取り組みます。

重点テーマ

- (1) 地域の移動・交通システムの再構築
- (2) 地域における防災・減災対策の推進
- (3) 空き家や未利用農地・山林等を活用する仕組みの構築
- (4) 中心市街地の活力維持と周辺地域とのネットワーク強化

みんながずっと元気なまち

《保健／医療／福祉》

めざす

10年後の姿

保健医療福祉の充実や支え合いにより、誰もが健やかに暮らしている。

歳を重ねても、病気や障がいがあっても、安心して生活できる。



誰もが日々の暮らしの中で健康づくりを実践している。

保健・医療・福祉が一体となって住民の暮らしを支えている。



変えないこと

- ☐ 地域の様々な人が連携協働した福祉や健康づくり・食育の取り組み
- ☐ 市民の暮らしを支える医療・介護・福祉サービス
- ☐ 住民同士の温かなつながり



変えること

- ☐ 市民の健康意識
- ☐ 医療・介護・福祉の連携
- ☐ 地域の医療や福祉を支える人材の不足

ここで成果を確認しよう！

自分は健康であると感じていますか？（市民アンケート）

現状値
2024(R6)年度

75.2%

中間目標値
2029(R11)年度

80%

最終目標値
2034(R16)年度

80%

基本方針

- 1 健康長寿・生涯現役をめざし、誰もが暮らしの中で楽しみながら健康づくりに取り組める環境づくりをすすめます。
- 2 必要とする人が必要な医療や介護、福祉サービスを適切に受けられる地域の実現に取り組めます。
- 3 誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて共助、公助のそれぞれの特性をいかして連携を密にし、地域の支える力を高めます。

重点テーマ

- (1) 地域等との協働による健康づくりの推進
- (2) 地域医療・介護・福祉サービスの担い手確保
- (3) 地域のつながりの維持と支え合い体制の充実

04 みんなで子どもを育てるまち

《結婚／出産／子育て》

めざす 10年後の姿

家族や地域の温かなつながりの中で
安心して子どもを育てられている。

子育ての悩みや不安を解消する
サポート体制が充実している。

若い世代が結婚や
子育てにポジティブな
イメージを持っている。

家庭、地域、職場で、
子育てしやすい環境が
整っている。



子どもたちが自然の中で元気に
遊び回れる環境が整っている。



変えないこと

- ☐ 温かな子育て環境
- ☐ 充実した子育て支援制度
- ☐ ライフステージに応じた切れ目ない
対応・支援



変えること

- ☐ 結婚や子育てへのイメージ
- ☐ 子育て世代の賃金・労働環境
- ☐ 子育て中の親と地域とのつながり

ここで成果を確認しよう！

①
雲南市は子育てしやすいまちで
あると感じますか？（市民アンケート）

②
合計特殊出生率
※一人の女性が一生の間に産む
子どもの数を表す指標

現状値 2024(R6)年度	中間目標値 2029(R11)年度	最終目標値 2034(R16)年度
172.3%	175%	180%
21.50(R5)	21.62	21.80

基本方針

- 1 豊かな環境の中で健やかに遊び、育つ、雲南だからできる子育て環境づくりに取り組みます。
- 2 地域や事業者とともに、安心して子育てしながら働ける環境づくりに取り組みます。
- 3 若い世代の結婚、子育てへの意欲を高め、その希望を叶えられる環境づくりに取り組みます。

重点テーマ

- (1) 雲南らしさをいかした子育て環境の整備
- (2) 市内事業所の子育て環境の充実支援
- (3) 非婚化・晩婚化対策の推進

人の輪が広がるまち

《移住定住／人材還流／関係人口》

めざす

10年後の姿

雲南に愛着を持ち、
まちづくりに関わる人の輪が広がっている。

移住者が増え、地域活動や
農林業の担い手として活躍している。

進学や就職で地元を離れた若者が
いろいろなかたちで雲南に関わっている。



若者たちの
地元で働く割合が
高まっている。

デジタル技術を活用し、
雲南で暮らしながら
市外・県外の企業で
働く人が増えている。



変えないこと

- ☐ チャレンジを後押しする環境
- ☐ 自然豊かな子育て環境
- ☐ 地域と学校がこどもの学びを支え、
応援する環境



変えること

- ☐ 雲南の魅力の市内・市外への発信
- ☐ 都市部で働く本市出身の若者とのつながり
- ☐ 働き方に関する固定観念

ここで成果を確認しよう！

1

人口の社会動態

※転入と転出による人口の増減

2

Uターン者数

現状値
2024(R6)年度

①▲140人(R5)

②123人(R5)

中間目標値
2029(R11)年度

①+13人

②150人

最終目標値
2034(R16)年度

①+50人

②180人

基本方針

1

若者や子育て世代を主なターゲットにした移住定住対策に取り組みます。

2

市外県外で暮らす本市出身の学生・社会人とのつながりづくりを
すすめ、人材還流の促進を図ります。

3

農ある暮らしなど雲南らしい暮らしに関心を持つ人を積極的に
呼び込みます。

重点テーマ

- (1) 情報発信の強化と雲南出身者とのつながりづくり
- (2) 市内就業に向けた対策の強化(多様な働く場・働き方の創出等)
- (3) 二地域居住や短期滞在など多様なライフスタイルに合わせた滞在環境づくり

06 心の豊かさを実感できるまち

《スポーツ／文化》

めざす

10年後の姿

楽しみながら、自分らしい豊かな暮らしが実現できている。



公認スポーツ指導者をはじめ多くの人が
スポーツ・文化活動を支え、交流が生まれている。

誰もが気軽にスポーツや文化・芸術を
楽しめる場所や機会がある。



地域独自の伝統芸能や行事、
お祭りが継承されている。



変えないこと

- ☐ 地域のスポーツ・文化活動を支える人
- ☐ スポーツ少年団や総合型スポーツクラブ
などの地域主体の活動
- ☐ たたらや銅鐸など地域固有の歴史・文化



変えること

- ☐ スポーツや文化活動を生涯にわたり
継続できる環境
- ☐ 身近にスポーツ・文化に親しむ機会の
減少への対応
- ☐ 伝統文化活動の継承者の減少への対応

ここで成果を確認しよう！

スポーツや文化芸術に親しんでいますか？（市民アンケート）

現状値
2024(R6)年度

31.7%



中間目標値
2029(R11)年度

40%



最終目標値
2034(R16)年度

50%

基本方針

- 1 島根かみあり国スポ・全スポを契機として、誰もが「する」「みる」「ささえる」ことができるスポーツ機会の充実と環境づくりに取り組みます。
- 2 地域の歴史や幅広い文化芸術に触れ、学び合える機会の充実に取り組みます。
- 3 地域の文化や伝統行事の価値・魅力を伝え、これをいかした住民の交流活動を推進します。

重点テーマ

- (1) スポーツや文化に親しめる環境づくり
- (2) 地域独自の伝統芸能や自主的な文化活動を支える仕組みや交流機会の創出

ふるさとを学び育つまち

《教育》

めざす

10年後の姿

地域の温もりの中で学びあい、
ふるさと雲南を愛する人にあふれている。

一人ひとりの
こどもたちの成長や
個性に応じた
教育活動が
実践されている。



生まれ育った環境に左右されず、誰もが
分け隔てなく、共に学び合っている。

学校・家庭・地域が力を合わせてこどもを育てている。
ふるさと雲南の誇りが継承されている。



誰もが通いたい、通わせたい、働きたいと
思える魅力ある学校がつくられている。



変えないこと

- ☐ 雲南ならではのふるさと教育・キャリア教育
- ☐ 一人ひとりを大切にされた個別最適な教育
- ☐ 地域とともにある学校づくり



変えること

- ☐ 地域や学校の教育環境の変化への対応
- ☐ 学校への行きづらさを抱える児童生徒や
特別な支援・配慮が必要な児童生徒への対応
- ☐ 家庭の経済力など子育て環境の
差異による教育機会格差への対応

ここで成果を確認しよう！

将来も雲南市に貢献したいと思いますか？（市内高校生意識調査）

現状値
2024(R6)年度

72.5%(R5)



中間目標値
2029(R11)年度

80%



最終目標値
2034(R16)年度

80%

基本方針

1

知恵と勇気と誇りをもつ雲南の人づくりをすすめます。

※知恵(未来を切り拓く力)と勇気(心豊かでたくましい心情)と誇り(ふるさとを愛する心情)

2

誰もが好奇心に応じた学びに接続でき、夢や希望を抱くことのできる
学びの場づくりをすすめます。

3

こどもを真ん中にした教育環境づくりをすすめます。

重点テーマ

- (1) 豊かな人間性を育み、学ぶ力と創造力を高める教育環境づくり
- (2) 学校・家庭・地域(企業・NPO等含む)の連携・協働による教育環境づくり
- (3) こどもたちの笑顔にあふれる学校づくり

チャレンジが生まれるまち

《人材の育成・確保》

めざす

10年後の姿

チャレンジしやすい環境が広がり、
多分野で多様なチャレンジが生まれている。

誰もが自分なりのチャレンジに
取り組んでいる。

様々な分野でチャレンジしたい人材が学び合い、実践している。



資金面のサポートなど
チャレンジを応援する仕組みが整っている。



変えないこと

- ☐ 市全体でチャレンジを支える仕組み
- ☐ チャレンジする、応援する風土
- ☐ 官民連携の推進体制



変えること

- ☐ チャレンジの広がり
- ☐ チャレンジに対する固定観念
- ☐ 市民への発信・認知度

ここで成果を確認しよう！

チャレンジしやすいと感じますか？（市民アンケート）

現状値
2024(R6)年度

40%



中間目標値
2029(R11)年度

45%



最終目標値
2034(R16)年度

50%

基本方針

- 1 子ども、若者、大人、企業による地域や社会を変革する“ソーシャルチャレンジ”を多分野で生み出します。
- 2 誰もが挑戦しやすい環境づくりに取り組みます。
- 3 チャレンジを応援する仕組み（資金調達・人材獲得・場づくり・情報発信）をつくります。

重点テーマ

- (1) 雲南での暮らしや働くスキルを学べる仕組みの構築
- (2) チャレンジ支援制度の充実・強化
- (3) チャレンジを支える新しい資金調達の仕組みづくり

09 みんながみんなを大切にすまち

《平和と人権／多様性の尊重／多文化共生》

めざす

10年後の姿

『『平和を』の都市宣言』の精神に基づき、お互いの価値観を尊重し、みんながいきいきと安心して暮らしている。

誰もが「平和を」の都市宣言を理解し、語ることができる。

性別による固定的な役割分担や地域での慣習が見直され、誰もが自分らしく暮らしている。



外国人住民等も
地域の一員として活動に参加している。



変えないこと

- ☐ お互いを思いやるこころ
- ☐ 『『平和を』の都市宣言』の精神



変えること

- ☐ 性別等による差別や偏見
- ☐ 外国人住民を受け入れる環境
- ☐ 時代に合わない慣習やしきたり

ここで成果を確認しよう！

性別などに関係なく誰もが平等に扱われていると
感じますか？（市民アンケート）

現状値
2024(R6)年度

65.1%

中間目標値
2029(R11)年度

74%

最終目標値
2034(R16)年度

80%

基本方針

- 1 お互いのいのちと人権を尊重し、「平和を」のまちづくりに取り組みます。
- 2 地域の寛容性を高め、様々な違いを持つ人たちが互いに認め合い、自分らしく暮らせる環境づくりに取り組みます。
- 3 社会的に弱い立場の人でも誰一人取り残さないまちづくりをすすめます。

重点テーマ

- (1) 家庭、学校、地域、職場での様々な体験・学習機会の創出
- (2) 集落単位で人権意識、多文化共生など多様性への理解を浸透させる草の根プロジェクトの推進

めざす

10年後の姿

新しい発想や挑戦により稼ぐ力が高まっている。

デジタル技術の活用や高付加価値化により農業や畜産、林業の収益性がアップし、新規就業者が増えている。



地域の未利用資源を活用した新しいビジネスが生まれている。

デジタル化やDX化、兼業副業などの新しい働き方が広がっている。



雲南で生み出された製品・サービスが県外・海外へと広がっている。



変えないこと

- ☐ 豊かな地域資源
- ☐ 全国に知られる食の安全安心のブランド力



変えること

- ☐ 商品・サービスの価格設定のあり方
- ☐ 欲しい人に届ける仕組み
- ☐ 後継者や労働力の不足

ここで成果を確認しよう！

市内総生産額

※市内における1年間に生産された商品やサービスの総額



基本方針

- 1 農林業をはじめとする地場産業の振興と域内消費の拡大を図り、市内での経済循環を高めます。
- 2 豊かな環境や資源をいかした付加価値の高い農産品・商品や事業を生み出し、国内外へのマーケットの拡大を図ります。
- 3 地域の活力を高める企業の誘致や産業を支える人材の確保に取り組みます。

重点テーマ

- (1) 市内事業者の経営基盤強化に向けた支援(人材確保・DX推進等)
- (2) 市内経済循環の推進
- (3) 多様な企業の誘致やスタートアップ企業の支援
- (4) 産直振興・地産地消の推進
- (5) 地域商社の立ち上げによる地産都消の推進

みんなのたからを誇るまち

《観光／ブランディング》

めざす

10年後の姿

世界に誇る歴史文化や資源を通じて
国内外の雲南ファンとつながっている。

神話やたたらのなどの
雲南ブランドが
世界に広がっている。



地域が大切にしてきた里山の景観や
暮らしが観光客にリスペクトされている。

宿泊、飲食、交通機関の充実など、官民が
力を合わせて観光客の受け入れ体制を強化。



多様な民間プレーヤーが
育ち、新たな観光商品を
生み出している。



変えないこと

- ☐ 神話やたたら、伝統芸能などの
雲南独自の価値や魅力
- ☐ 豊かな食や自然、歴史文化などの観光資源
- ☐ 温かいおもてなし



変えること

- ☐ 官民の連携体制
- ☐ 雲南の魅力の伝え方
- ☐ インバウンドの受け入れ体制

ここで成果を確認しよう！

観光消費額

※市内を訪れた観光客の消費総額



基本方針

- 1 神話やたたらなど雲南独自の価値や魅力をいかし、ブランド力を高めます。
- 2 広域観光やインバウンド（訪日外国人旅行）の推進に取り組みます。
- 3 豊かな里山の環境や生活文化をいかした観光まちづくりに地域や多様な実践者とともに取り組みます。

重点テーマ

- (1) 豊かな自然環境、歴史文化、食や人の魅力をいかした観光まちづくりの推進
- (2) 外国人観光客など多様な旅行スタイルに応じた受け入れ体制・環境の整備
- (3) 観光施設の魅力化

自然の恵みがめぐるまち

《自然環境／エネルギー／循環型農業》

めざす

10年後の姿

自然の恵みをいかした
持続可能な循環モデルが確立されている。

エネルギーとして利用できる資源の利活用がすすんでいる。

環境に配慮した取り組みと合わせ、
農林畜産物のブランド力が高まっている。



温室効果ガスの削減に向けた
取り組みがすすんでいる。



変えないこと

- ☐ 豊かな自然環境や農山村
- ☐ 人と自然の共生の仕組み
- ☐ 農業・林業の技術



変えること

- ☐ 消費者の意識
- ☐ 事業活動でのCO₂排出
- ☐ 化石燃料への依存

ここで成果を確認しよう！

脱炭素に関する取り組みをしていますか？（市民アンケート）

現状値
2024(R6)年度

60.1%

中間目標値
2029(R11)年度

80%

最終目標値
2034(R16)年度

90%

基本方針

- 1 雲南らしさをいかした脱炭素社会の実現に向けた取り組みをすすめます。
- 2 人と自然が調和する豊かな農山村や生物多様性の保全に取り組みます。
- 3 地域や事業者とともに、環境保全活動の推進や環境意識の向上に取り組みます。

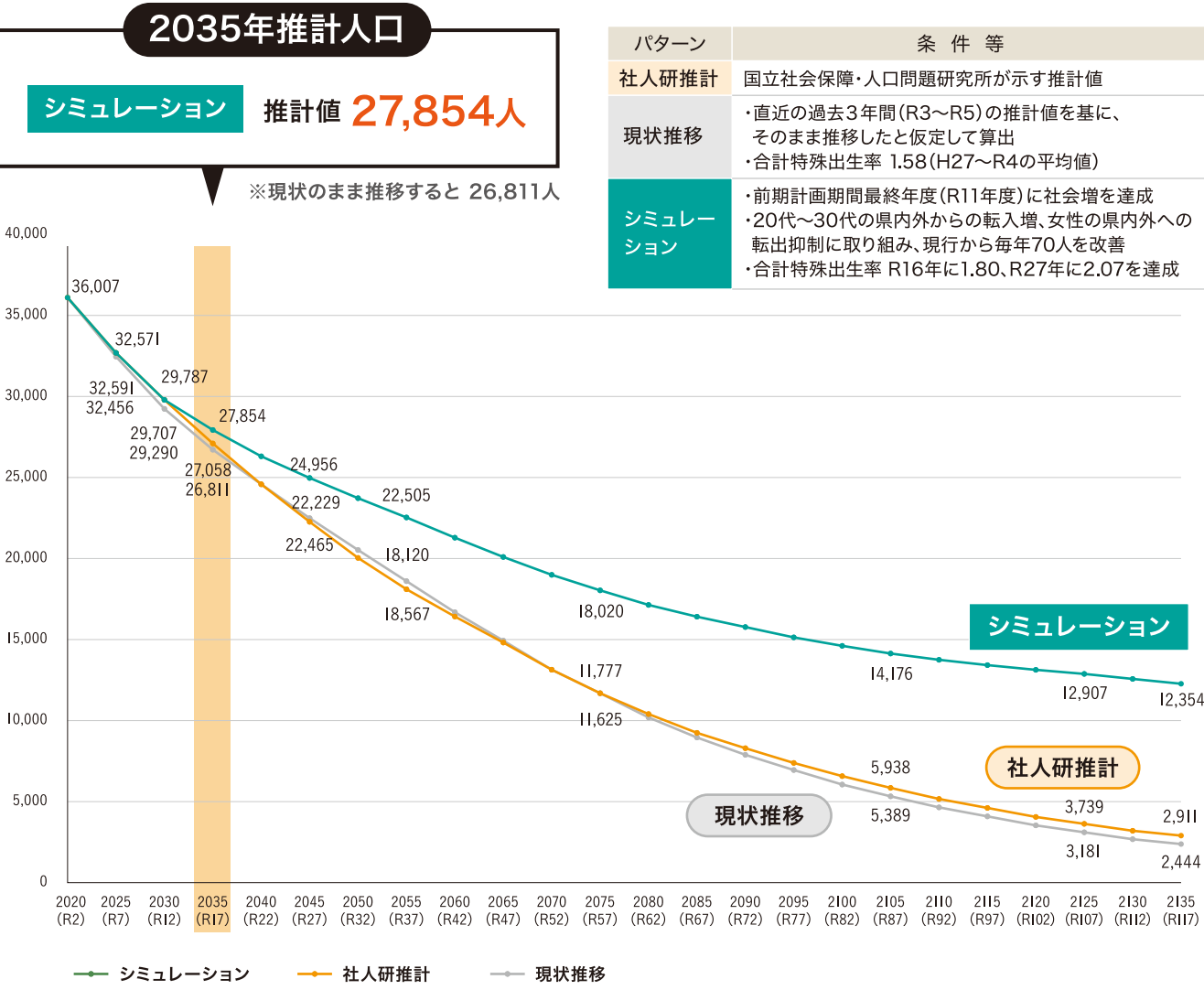
重点テーマ

- (1) 地産地消による再生可能エネルギーの推進
- (2) ごみの適正処理と減量化・リサイクルの推進
- (3) 環境に配慮した農業の推進

うなん
ビジョン
2025-2034
付録

1. 人口の見通し

雲南市の将来の人口について、3つのパターンで推計を行いました。2035年の人口を27,854人に維持することをめざします。



雲南市の将来の人口について、3つのパターンで推計した際の各年の総人口、社会増減、自然増減は以下の通りとなります。

区 分		2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2045 (R27)	2055 (R37)	2075 (R57)	2105 (R87)	2125 (R107)	2135 (R117)
				5年後	10年後	20年後	30年後	50年後	80年後	100年後	110年後
社人研推計	総人口	36,007	32,591	29,707	27,058	22,229	18,120	11,777	5,938	3,739	2,911
	出生数		162	138	120	86	66	39	18	10	8
	合計特殊出生率		1.58	1.58	1.58	1.58	1.58	1.58	1.58	1.58	1.58
	社会増減		▲ 153	▲ 55	▲ 34	▲ 6	▲ 19	7	11	2	3
	自然増減		▲ 554	▲ 446	▲ 429	▲ 390	▲ 361	▲ 313	▲ 151	▲ 86	▲ 67
	人口増減		▲ 707	▲ 501	▲ 463	▲ 396	▲ 380	▲ 306	▲ 140	▲ 84	▲ 64
	高齢化率		40.8%	39.8%	40.4%	45.3%	49.3%	50.9%	52.6%	52.6%	52.5%
現状推移	総人口	36,007	32,456	29,290	26,811	22,465	18,567	11,625	5,389	3,181	2,444
	出生数		162	138	120	86	66	39	18	10	8
	合計特殊出生率		1.58	1.58	1.58	1.58	1.58	1.58	1.58	1.58	1.58
	社会増減		▲ 153	▲ 55	▲ 34	▲ 6	▲ 19	7	11	2	3
	自然増減		▲ 554	▲ 446	▲ 429	▲ 390	▲ 361	▲ 313	▲ 151	▲ 86	▲ 67
	人口増減		▲ 707	▲ 501	▲ 463	▲ 396	▲ 380	▲ 306	▲ 140	▲ 84	▲ 64
	高齢化率		40.8%	39.8%	40.4%	45.3%	49.3%	50.9%	52.6%	52.6%	52.5%
シミュレーション	総人口	36,007	32,571	29,787	27,854	24,956	22,505	18,020	14,176	12,907	12,354
	出生数		154	156	158	155	139	119	103	95	92
	合計特殊出生率		1.48	1.66	1.80	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
	社会増減		▲ 87	22	52	76	50	57	77	75	73
	自然増減		▲ 555	▲ 426	▲ 391	▲ 315	▲ 299	▲ 249	▲ 160	▲ 131	▲ 127
	人口増減		▲ 642	▲ 404	▲ 339	▲ 239	▲ 249	▲ 192	▲ 83	▲ 56	▲ 54
	高齢化率		40.7%	39.2%	38.9%	40.8%	40.9%	39.8%	34.9%	35.5%	35.0%

2.土地利用ビジョン

地域の特性をいかした均衡ある発展に配慮しながら、市街地整備をすすめる都市機能地域、農地として生産振興を図りつつ交流活動やUターンを促進する地域、山林など環境保全をすすめる地域、宅地開発などをすすめる住環境開発地域を設定し、計画的な土地利用を図ります。市全体の視点にたった機能分担や連携を図り、それぞれの地域にあった「暮らしやすさ」が感じられるまちをめざします。

中核拠点ゾーン

市の中心であり顔となる「中心市街地エリア」、地域医療の中核を担う「医療機能エリア」、良好な住生活環境を有する「定住機能エリア」を適切に配置し、ネットワーク化を図ることによって利便性の高い都市機能整備と賑わいのあるまちづくりをめざします。

住環境開発ゾーン

住宅団地の整備や宅地開発を計画的に推進します。

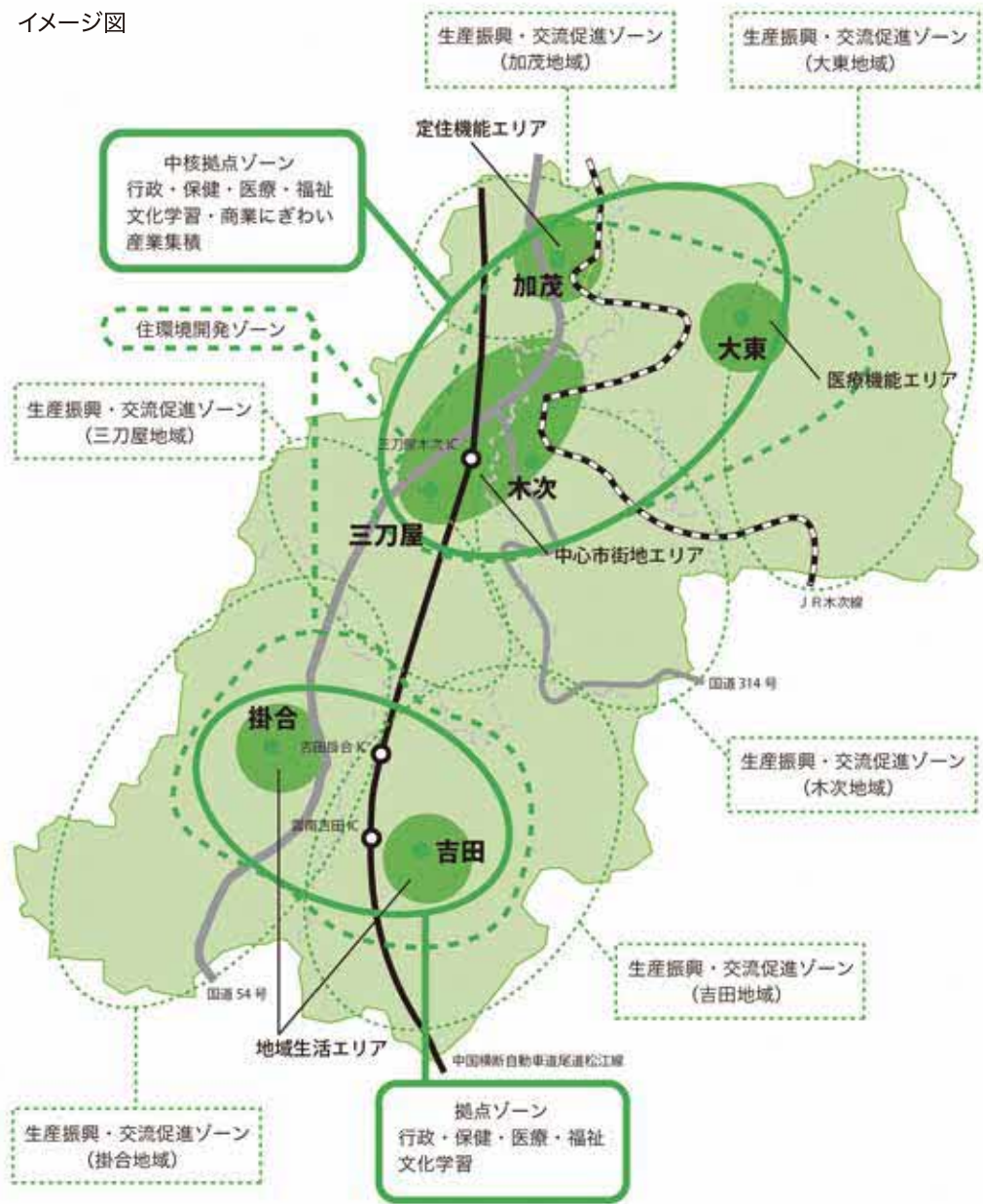
拠点ゾーン

山陽側の玄関口として中核拠点ゾーンと連携しながら、既成市街地周辺に機能の集積を図り、広域的利便性の高いまちづくりをめざします。また、原子力災害が発生した場合の災害対応拠点を確保します。

生産振興・交流促進ゾーン

農業などの生産振興を図るとともに地域の特性をいかした体験交流やUターンなどの交流促進を図り、美しい農山村の風景を守ります。

イメージ図



3. 総合計画策定の歩み

(令和5年度)

日 時	内 容	詳 細
5/28	第1回総合計画策定委員会	・策定委員会委員の委嘱 ・取組内容の説明
	第3次総合計画策定 キックオフフォーラム	【基調講演】「世界と日本の暮らしからみる“ミライチズ”の描き方」 講師：龍谷大学副学長 深尾昌峰氏
5/29	市職員研修	・総合計画策定に向けた取組状況の説明 ・龍谷大学副学長 深尾昌峰氏による講演
6/29	第2回総合計画策定委員会	・市政の現状について説明 ・まちづくり(チャレンジ)現場の市内視察
7/14	市職員研修	【講演】「雲南市VS世界で見てきた人口5万人以下の素敵な街TOP3」 講師：(株)Creative Project Base 代表 倉成 英俊氏
7/15	第3回総合計画策定委員会	【テーマ】「雲南市はこれからどんな市になるの？」 講師：(株)Creative Project Base 代表 倉成 英俊氏
	まちづくりワークショップ	
8/9-10	第4回総合計画策定委員会	・先進地(岡山県西栗倉村)を視察 ・視察内容：資源活用による仕事創出、脱炭素・デジタル化、官民連携、人材誘致など
9/1	第5回総合計画策定委員会	・第1、2次総合計画期間の取組状況の説明 ・基本構想について意見聴取
10/13	第6回総合計画策定委員会	・人口ビジョン(目標人口)の検討 ・基本構想の検討
10/19-20	庁内作業部会(GL・SL級職員)	・基本構想の検討
10/21	第7回総合計画策定委員会	・基本構想の策定状況の中間報告 ・基本構想について意見聴取
	まちづくりワークショップ	
11/15-16	庁内作業部会(次長・課長級職員)	・基本構想案の検討
11/17	第8回総合計画策定委員会	・基本構想案の検討 ・人口ビジョン(目標人口)の検討 ・関係人口について研修
	【12月市議会へ基本構想案説明】	
1/16～2/1	タウンミーティング	・6町単位で基本構想案に対する意見聴取
1/19	第9回総合計画策定委員会	・市長・副市長との意見交換 ・基本構想の磨き上げ

(令和5年度)つづき

日 時	内 容	詳 細
2/15	第10回総合計画策定委員会	・基本構想の磨き上げ
	【3月市議会へ基本構想案説明】	
3/4～27	施策会議(GL級職員)	・基本計画について検討
3/22～4/23	パブリック・コメント	・基本構想案に対する市民意見の公募

(令和6年度)

日 時	内 容	詳 細
5/13	第11回総合計画策定委員会	・基本構想の最終確認 ・基本計画について意見聴取
5/14,20,21	市職員研修	・基本構想の共有 ・基本計画について検討
	【6月市議会にて基本構想議決】	
6/10～12	施策会議(課長級職員)	・基本計画について検討
7/6	第12回総合計画策定委員会	【テーマ】「あなたにとっての“えすこ”とは？」 講師：(同)遠足計画 代表 石原達也氏
	まちづくりワークショップ	
7/12～24	タウンミーティング	・6町単位で基本計画案に対する意見聴取
8/1～7	施策会議(課長級職員)	・基本計画について検討
8/26	第13回総合計画策定委員会	・第2次総合計画期間内の振り返り ・基本計画に対する意見聴取
	【9月市議会へ基本計画案説明】	
9/24～30	重点プロジェクトブラッシュアップ会議	・総合計画の重点プロジェクト内容について庁内検討
10/4～8	施策会議(課長級職員)	・基本計画成果指標について検討
11/1～12/2	パブリック・コメント	・基本計画案に対する市民意見の公募
11/7-8	基本計画成果指標設定研修	・基本計画成果指標について研修・検討
11/22	第14回総合計画策定委員会	・基本計画案の確認 ・総合計画策定について振り返り
	【12月市議会へ基本計画案説明】	
3/23	第15回総合計画策定委員会	・総合計画の完成お披露目 ・雲南市の将来像の共有
	えすこな雲南市×雲南ソーシャル チャレンジ大発表会	

4. 策定委員会名簿

(順不同、敬称略)

委員名簿

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	備 考
地域自主組織から推薦された者	加 藤 一 郎	大東町地域自主組織連絡協議会	
	広 野 充 明	加茂まちづくり協議会	
	陶 山 桂 一	木次町地域自主組織連絡協議会	
	菅 澤 邦 次	三刀屋町地域自主組織連絡協議会	
	大 家 崇	吉田町地域自主組織連絡協議会	副委員長
	徳 島 義 孝	掛合町地域自主組織連絡会議	
公募により選出する者	總 山 萌	公募委員	
	森 浩 子	公募委員	
	藤 原 美 紗	公募委員	
その他市長が必要と認める者	小 林 慎 一	J Aしまね雲南地区本部 営農企画課長	
	高 橋 大 輔	(株)出雲たかはし 代表取締役社長	委員長
	松 尾 まゆみ	(一社)雲南市観光協会 副会長	
	大 森 伸 一	雲南市立木次小学校 校長	
	藤 原 ひろみ	(福)雲南市社会福祉協議会	
	舟 木 千 恵	(株)キラキラ雲南	
	田 中 学	(同) G I F T 代表	
	木 村 和 子	(公財)うんなんコミュニティ財団	
	梶 谷 知 世	島根大学 大学生	
	田 中 輝 美	島根県立大学 地域政策学部 准教授	
	山 元 圭 太	雲南市地方創生アドバイザー	

雲南市総合計画策定若手ワーキングチーム名簿

所 属	氏 名	備 考
政策企画部	安 部 千 愛	
防災部	佐 々 木 良	
市民環境部	須 谷 大 輔	
	加 藤 千 佳	
健康福祉部	三 浦 美 穂	
	村 尾 奈 津 子	
農林振興部	佐 藤 健 太	
建設部	持 田 琢 也	
	神 田 敬 太	
こども政策局	難 波 真 美	※1年目(R5年度のみ)
教育委員会	尾 方 祥 子	※2年目(R6年度のみ)
加茂総合センター	中 林 英 昭	
掛合総合センター	武 田 章	※1年目(R5年度のみ)
	吾 郷 静	※2年目(R6年度のみ)

うなんビジョン2025-2034

第3次雲南市総合計画

発 行 日 2025年(令和7年)3月

発行編集 雲南市役所 政策企画部 政策推進課

島根県雲南市木次町里方521-1

TEL 0854-40-1011

E-mail seisakusuishin@city.unnan.shimane.jp

